

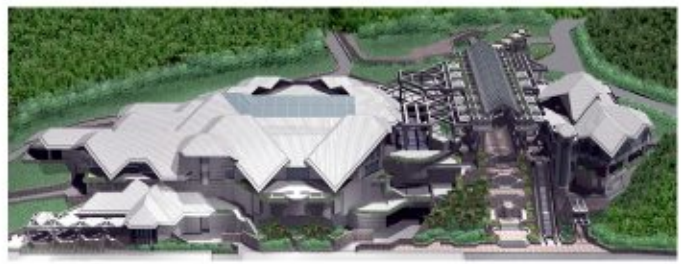
# 沖縄ん 建築紀伝

横断する眼差し

■最終回■ 国場幸房(建築家)

「光と風の建築」を求めて

沖縄美ら海水族館の関係者、現場に携わった人々、報道カメラマン等、大勢の人々の見守るなかで、夢の大水槽に初めて七五〇〇トの海水が大きな爆音と水煙をたてて流れ込んだ。「バンザイ！バンザイ！バンザイ！」と水族館の現場に携わった人々の、この一瞬のために労苦を共にしてきたような、思わず感きわまつて出た爆音に負けない大きな歓声であった。この水族館の建物には、世界最大級の大水槽に加えて世界最大の魚類である複数のジンベエザメや、マンタの群生、生きたサンゴの大規模展示、ギネスに掲載された世界最大の中二・五メートル、厚さ六〇センチのアクリルガラス、そしてアクアarium等、世界一、世界初と多くの試みを施してある。工事中に建設現場に掲げた「皆で世界一の水族館を造ろう」の標語は現場に携わる人々の建設への士気の高揚をうながした。鹿島建設を筆頭に県内の建設会社を含む四十社近くの企業と、その他多くの協力会社を多くの人々の、思い出の現場になったと思う。



美ら海水族館の全景

我々はこの水族館の設計監理に携わる幸せを得た。この機会を与えてくださった関係各位に深く感謝を申し上げたい。二〇〇五年六月現在、オープンして約二年半で六百万人(昨年の入館者数日本一)を超える観客が訪れ、多くの喜びの声も聞こえてくる。又この建物の建設に関係した人々の家族を連れて誇らしく案

内している姿も想像できる。これからの飼育、運営においてはジンベエザメ等の館内での繁殖等、数多くの目標があると聞く。首里城等のように、沖縄県民の愛され誇れる財産として育てほしいものである。

公共施設は国民の税金を使って、それぞれの過程を経て、多くの人々とそれぞれの専門家の協力を加えて効果的に具現化され創造されて国民に還元される、国民の財産であることを、ついで忘れることがある。

地球のどの地点かによって地球環境は異なり、その環境によって生活形態も、その文化も左右される。日本の国だけでも、北は雪の多く降る北海道から、四季を感じ「わび」「さび」の文化を生み出した京都、そして亜熱帯に属する灼

熱の太陽と、強い台風に見舞われるこの沖縄。それぞれの環境は建築文化に多少なりとも変化をもたらすはずである。その地域の建築文化を追求するのが地域に住む建築家の責務だと思つて居る。私の建築の設計に対する思考のあり方は、沖縄の一般的な家庭料理であるゴーヤーチャンプルーやカンダバージュシーを建築的に再現しているような気がする。それは地域・風土で生まれた素材の持っている力をいかに引き出していくかということにおいて・・・。

私の建築表現が多少地域性をおびているというところで、法政大学の武者英二教授、琉球大学の福島駿介教授の薦めで、二〇〇〇年に私の六十歳を期して、東京と沖縄で「光と風の建築」と題した個展を開かせてもらった。私の恩師である大高正人先生も来られたので、四十年前の教えに對し、少しでも恩返し出来たのではという気になった。



風景に  
タワーパーク  
オープンパーティーの  
個展の

個展のオープンパーティーは、武者、福島両

氏の司会と、大谷幸夫氏の乾杯の音頭で、平良敬一、二川幸夫、石井幹子、菅原太郎氏等、多くの著名人や、東京での昔の友人同僚、沖縄からの友人等、多数参加して頂いて、仕事を忘れた楽しい宴を催してもらった。

今年の三月、世界的な建築家丹下健三氏が亡くなった。久しぶりに氏の設計された代々木体育館を見せてもらった。四十年以上経つた今もその素晴らしさと新鮮さを感じ、改めて脱帽した。建築の素晴らしさは、ライトが我々に教えてくれている。彼が九十年の生涯をこの世界に投じてもまだまだ未練があると・・・。

私の所属する(株)国建は技術者を中心とした二百二十名余のスタッフで組織された総合建設コンサルタントをなし、その過半数が建築設計関係に携わっている。そしてそれぞれのプロジェクトごとにチーフとスタッフが責任を担って仕事をさせてもらっている。特殊で長期にわたる首里城復元や、公共工事、サンエー等の大型ショッピングセンター、G7サミットが開催された万国津梁館等の会館、プセナテラス等のホテル関係、空港ターミナルビル、新聞社、住宅、等数多くの仕事をこなしている。

この「沖縄ん建築紀伝」は、私が直接プロジェクトチーフとして携わった仕事を設計したときの「実践での思考」と背景の記録を酒の席で何度か建築仲間、特に伊志嶺敏子・親泊仲真氏に進められたのでまとめてみたものである。おしまいに、最終回まで編集協力してもらった親泊仲真氏に、また仕事の合間をぬって協力してもらった国建のスタッフに感謝し、建築に携わる若い方々に多少なりとも新たな意気込みとイメージの喚起力の一端になればと願う。(完)